

児童発達支援センターに係る自己評価結果公表

公表日：令和4年2月24日

尼崎市立あこや学園

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>各保育室の他にプレイルーム・ホールもあり、十分確保されている。（4）</li> <li>給食から食後にかけて、食事用テーブル遊びのスペース等を確保するのが難しい。</li> <li>トイレは、密になることもあるのでもう少し数があればいいと思う。</li> <li>雨天時など戸外に出られない場合のスペースは十分ではないと感じる。（3）</li> <li>バス内は、密集密接になると感じる。</li> <li>感染症対策も考え、十分なスペースを取れるように人数を調整する等して保育している。（5）</li> <li>コロナ禍の中では、密になり不十分なこともある。（6）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園庭は広いですし、雨で外に出られない日もホールやプレイルーム等で十分に体を動かせます。（1）</li> <li>園庭もホールも十分過ぎる位広いです。（1）</li> <li>教室やプレイルームもちょうどよい位の広さです。</li> <li>コロナで園にあまり行かないのでわかりません。自分のクラスだけなら適切だと思います。</li> </ul>	
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラス3人の配置ができ、フリー職員や看護師の人数も含め、十分に配置できている。（5）</li> <li>クラス担任が不在時には、他職員が応援に入る等の工夫をし、安全確保もされている。（3）</li> <li>活動内容によっては、応援が欲しいと感じる時もある。</li> <li>機能的に安全面の必要な場合や行動や特性の面で配慮が必要な場合など、個別対応する職員が不足と感じる事がある。（8）</li> <li>職員の休暇や出張等で足りないと思うことがある。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの先生方に見守って頂いています。</li> <li>職員1人につき子ども2人ほどを見てもらい、補助の先生もいるので適切だと思います。</li> <li>それぞれの職員の方々の対応は、とても適切で助かっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置基準を守りつつ、必要に応じ担任以外の応援体制をとるようにしています。</li> <li>職員の欠員が生じないような取り組みをしています。</li> </ul>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段や廊下に手すりがつけられている。</li> <li>子どもの特性に応じた環境設定を行っている。（2）</li> <li>視覚支援（写真、絵カード等）を使用して、子どもがわかりやすいようにしている。（14）</li> <li>保育室の物の配置は、安心して過ごせるようにしている。（7）</li> <li>環境整備はしているが、子供の特性や発達段階も多岐にわたり十分とは言えない。</li> <li>体の小さい子どもにとって、洗面台やジャングルジムは高いと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人にとって、どこに何があるかよくわかっているようです。</li> <li>子どもは目が悪いので、ロッカーに色をつけてもらったり配慮してもらっています。</li> <li>バリアフリー化で、車椅子の方の訪問が心配です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の構造上難しいこともありますが、車椅子の方への介助方法を職員間で学ぶ機会を設ける等の取り組みをしています。</li> </ul>
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの環境は、時間帯によるが密になることもあり適切とはいえない面がある。（1）</li> <li>トイレの空間は、夏場は蒸し暑く快適とは言えない。（1）</li> <li>清潔に保たれている。（1）</li> <li>毎朝の園庭整備の時に、細部までチェックしている。</li> <li>消毒等、感染症対策をその都度行っている。（8）</li> <li>週に一度、安全点検日を設けている。（6）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレが寒いので、暖房器具があったらなといつも思います。</li> <li>消毒をよくして下さっているので安心です。（1）</li> <li>トイレもとてもきれいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度からトイレの気温・湿度の測定を始めました。その結果を基に、冷暖房設備の設置を検討していきます。</li> </ul>
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の振り返りは、担任間でしているが十分に時間を取れないこともある。（3）</li> <li>療育の話し合いは出来ている。（1）</li> <li>会議で行事の案の確認・反省を行い、次年度に活かせるようにしている。（8）</li> <li>行事・療育内容等計画から反省まで行っているが、直前での企画や提案が多く、十分に検討できていない事も多い。（1）</li> </ul>		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施していない（8）</li> </ul>		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修係で年間の研修計画を立てている。</li> <li>園内研修の時間確保は出来ている。（1）</li> <li>事業団主催の研修、園内での研修は可能な限り参加できるようにしている。また、外部の研修も積極的に受講推進している。（5）</li> <li>今年度は、職員体制が整っているため、研修の実施・参加は出来ている。（6）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、年間の研修計画をたて、園内での研修だけでなく外部研修への参加を推進し、職員の資質向上に努めました。今後も継続できるよう努めます。</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者に年度始めに願いを聞いて計画に入れている。（2）</li> <li>入園面接・懇談等にて、ニーズの聞き取りを行い、担任と児童発達支援管理責任者で会議を行い計画を作成している。（7）</li> <li>児童発達支援管理責任者も担任とこまめに情報共有して作成することをしている。（5）</li> <li>児童発達支援管理責任者との話し合いは十分ではないと感じる。</li> </ul>		
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策のため、クラスを越えた集団活動の確保が以前に比べて難しい。（1）</li> <li>2クラスずつのリズム遊びや集団遊びを実施している。（3）</li> <li>感染症対策のため今年度は未実施だが、火曜日保育（親子通園日）時に個別保育を行っている。（9）</li> <li>コロナ禍のため、全園児で活動することが少なく、クラスでの保育が多い。（1）</li> <li>STは、1ヶ月半に1回、個別で行なっている。（希望者のみ）（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1人の子どもに合わせて頂いているので、とても嬉しいです。</li> <li>個別相談で言ったことが反映されています。</li> <li>どのように取り組むか等が書かれていて、とても細かい内容で助かっています。</li> <li>子どもの特性や親の意見等が反映されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスでの設定保育や2クラス合同での活動や個別保育等、コロナ禍でも出来る活動を工夫して行っています。</li> </ul>
	3	児童発達支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任と児童発達支援管理責任者と話し合いを重ね、目標設定し支援内容を作成している。（9）</li> <li>子どもの特性に応じて、具体的に設定している。（4）</li> <li>支援内容は、保護者にわかりやすいように具体的に記載するようにしている。（8）</li> </ul>		
	4	児童発達支援計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画を意識し、担任間で共有した上で、統一した支援を行っている。（12）</li> <li>必用に応じて、別の手立てを考え見直しをしている。</li> <li>概ねできている。</li> <li>日々の療育の中で、意識して取り組んでいるが、出来ていない場面もある。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の成長がちゃんと感じられているので、計画に沿った支援が行われていることがわかります。</li> <li>計画に沿った支援が行われています。</li> </ul>	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の療育から行事も含め各チームで立案し、必要なことは園全体で検討・共有している。（3）</li> <li>毎月、大クラス・小クラスで話し合って決めている。（12）</li> <li>会議でクラスの状況を報告し合い、全体で共有できるようにしている。</li> </ul>		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の夏休みは、感染症拡大防止に留意しながら、プール開放・施設開放を実施した。（7）</li> <li>休日の過ごし方を休み明け等に保護者に話を聞いて共有し、支援に繋げている。（3）</li> <li>親子登園は実施できていないが、連絡帳・電話を通して、保護者と共有を図っている。（6）</li> <li>長期休み（夏休み・冬休み・春休み）の支援のあり方は、保護者のニーズ等をふまえて検討が必要と考える。</li> <li>十分な対応は難しいと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日色々な活動内容があり、子どもも新しい活動に、毎回興味津々です。</li> <li>ちゃんとステップをふんでくださって考えてプログラムを作って下っているので安心です。</li> <li>毎月クラスだよりで保育内容の予定を立ててプログラムが組まれています。</li> <li>個々の活動が毎日の集団療育の中でどれくらい実施されているかわからないです。</li> </ul>	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中、様々に工夫を重ねてきたことで、活動のバリエーションが広がったと感じる。（1）</li> <li>コロナ禍の中でも出来る療育の内容や行事の実施方法を工夫している。</li> <li>子どもの姿によって、内容や方法を変えている。（6）</li> <li>2クラス合同保育を実施している。（1）</li> <li>クラスを越えての話し合いをして、アイデアを出し合っている。</li> <li>喫食状況をみて切り方、味付け、盛り付けを変えたりしている。また、新しい献立を取り入れたりもしている。（1）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中ではありましたが、感染症対策を行ないながら療育に取り組んできました。今後も集団での活動に取り組む中、個々の興味や好きなこと、また発達段階に合わせた工夫と配慮をしていきます。また、保護者の方と共有できるよう取り組んでいきます。</li> </ul>
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>前日に内容を確認し、当日朝にも内容や使用場所等を決めている。（8）</li> <li>毎朝、担任間で確認している。（10）</li> <li>概ねできている。</li> <li>バス添乗等のため当日出来ない日は、前日にするようにしている。</li> <li>応援としてクラスに入る時は、その日の自分の役割・子供の状態を確認し、また担任間の動きを妨げないように把握する。</li> </ul>		

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、療育終了後に、話し合っている。（9）</li> <li>・バス添乗当番等でできない時は、翌日に話し合ったり療育日誌で共有している。（2）</li> <li>・バス添乗や会議や行事があると、十分な時間の確保が難しい。</li> <li>・応援に入って気づいた点については、療育後各クラス担任に伝えている。</li> <li>・喫食状況を見たり、クラス担任に聞いたりして共有している。また、残食状況も共有するようにしている。（1）</li> </ul>		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ている。（1）</li> <li>・毎日、日誌に子どもの姿を記載している。（14）</li> <li>・特記事項は、チーフ・園長にも報告している。（8）</li> </ul>		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なモニタリングを行い、見直しを行っている。（16）</li> <li>・モニタリング時に必要に応じて相談支援員にも同席して頂いている。</li> </ul>		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、児童発達支援管理責任者が参加している。（7）</li> <li>・必要に応じて、園から他機関へ連絡を取り連携を図っている。（4）</li> <li>・出来ている。</li> <li>・当事業所の相談支援とは密に連携がとれているが、他事業所とは少ない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所の担当の方とも連携を取り、お子さんの姿を共有していけるようにしていきます。</li> </ul>
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業団内の医療型児童発達支援センターと連携し、必要に応じてPT・OTの視点から意見を頂いている。</li> <li>・感染症対策は、保健所等からの情報を確認しながら実施している。</li> </ul>		
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医の指示書をもとに、てんかん・アレルギー等のマニュアルを作成している。（9）</li> <li>・保護者の同意の下、必要に応じて診察時に同行したり文書で確認している。（4）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示書に基づき対応をしています。また、必要に応じて看護師が診察に同行して、指示を仰ぐ等の対応をしています。</li> </ul>
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任から進路先へ、書面や対面での引継ぎを行い、就学・就園後は、アフターケアを実施している。（15）</li> <li>・サポートブック・あまっこファイルの作成を保護者と連携しながらしている。（2）</li> <li>・保護者の希望によって、必要に応じて保育所等訪問支援を実施している。（6）</li> <li>・移行支援は出来ているので、今後は、書式を検討していきたい。</li> </ul>		
	5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携できている。</li> <li>・年に1回、関係機関懇談会を実施している。（9）</li> <li>・必要に応じて、他機関の見学や個別支援計画の共有をしている。（5）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回の関係機関懇談会は、感染症対策を行ないながら継続して実施していくように努めます。</li> </ul>
	6	児童発達支援事業所と保育所や認定こども園、幼稚園等との交流等、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、今年度も感染症拡大防止の観点から、外部との交流は実施していない。（16）</li> <li>・一昨年度までは、保育所交流（公立保育所・市立保育園）リズム交流（私立保育園）を実施していた。</li> <li>・公立保育所交流時に他園児にも給食提供をしていた。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのせいかな？今は中止されているのでしょうか？</li> <li>・コロナ禍なので、交流がないのは仕方ないと思います。（10）</li> <li>・コロナが終息すれば、ぜひお願いします。（2）</li> <li>・上の年齢のクラスになるとあるのかなと思います。（1）</li> <li>・自宅近所のお兄ちゃんと遊ぶ時の子どもの目の輝きは親自身幸せな気持ちになります。</li> </ul>	
	7	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、今年度も感染症拡大防止の観点から、外部との交流は実施していない。（15）</li> <li>・一昨年度までは、「園庭開放」を毎週水曜日に実施していた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、今年度も感染症拡大防止の観点から外部との交流はしていません。</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学日・契約日・一日入園日・療育説明会等で説明している。（13）</li> <li>・毎月献立表を配布しており、合わせて食に関する情報も提供している。また、アレルギー等対応の子どもには個別に献立表を配布している。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育説明会や親の会等で丁寧に説明して下っているのを助かります。</li> <li>・入園説明会で説明がありました。</li> </ul>	
	2	児童発達支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ている。</li> <li>・個人懇談時に支援内容の説明を行っている。（14）</li> <li>・感染症対策のため、家庭訪問での説明は未実施。（3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期ごとに個別懇談で丁寧に説明して頂いています。（1）</li> <li>・懇談会等で説明して頂いています。とても細かく説明して下さるのでわかりやすいです。</li> </ul>	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者を限定しているが、ペアレントトレーニングを実施している。（16）</li> <li>・今後、保護者への推進方法について検討していきたい。</li> <li>・母子登園クラス（2歳児）には、生活リズム等の研修実施や関わり方等を日々確認しながら伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児クラスなので、来年度から？になると思います。</li> <li>・親の会などで実施していることを教えて頂いています。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度もペアレントトレーニングを実施する予定です。対象年齢等については、検討していきます。</li> </ul>
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談時や連絡帳、電話等で共有するようにしている。（16）</li> <li>・連絡帳・クラスだより・あこやっこだよりなどで伝える工夫をしている。</li> <li>・個別言語の終了時に、支援内容や子どもの様子を口頭や手紙で伝えるようにしている。</li> <li>・ST、保育士、保護者と連携しながら、園児に合わせてペースト・ミルサー・きざみ等の対応をしている。（1）</li> <li>・親子登園が実施できず、対面でのやり取りの機会の確保が難しい。（3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方は、いつも相談にのって下さっています。子どもの小さな変化、困り事も対応して下さり感謝です。</li> <li>・今年度は親子通園なので、その都度話ができる環境で共通理解は十分できていると感じます。</li> <li>・療育参加時だけでなく電話などでも対応して頂いているので安心です。</li> <li>・こちらから尋ねないと教えて頂けないのが残念でした。もう少し先生発信で伝えてほしかったです。</li> <li>・コロナであまり機会がなかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもさんが園で取り組んでいることを家庭での生活につなげていけるような取り組みを継続して行っています。</li> </ul>
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や電話で相談を受けている。（5）</li> <li>・担任間だけで難しい時は、児童発達支援管理責任者にも相談し、一緒に対応している。（12）</li> <li>・必要に応じて、相談支援専門員にも相談している。</li> <li>・年に1回、個別言語の見学後に保護者との懇談の時間を設けている。</li> <li>・保護者の要望があれば、献立のレシピを提供したり、食についての相談があれば対応している。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の合間にも話しかけて頂き、私の不安解消やストレス発散にもなっています。</li> <li>・いつも親身に対応して頂いています。</li> <li>・相談等とてもしやすい環境です。</li> <li>・連絡帳。健康ノート、電話などで細かい配慮をして下さり、懇談でもして下さり助かります。</li> <li>・定期的に親子通園や個別相談があり行われています。</li> </ul>	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の会、役員会を感染症対策をしながら実施している。ただ、緊急事態宣言期間は中止をした。（2）</li> <li>・感染症対策のため、回数や方法は限られているが、実施している。（11）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児クラスなので、まだ参加したことがないです。</li> <li>・コロナで例年よりは少ないですが、負担にならない程度で助かっています。ある方が心強いです。</li> <li>・親の会の活動の連絡が定期的に行われ、実施されています。</li> <li>・コロナ禍で、例年ほど研修や交流がないです。（3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、会場を工夫し感染症対策を行ないながら、定期的に親の会を開催できるように取り組んでいきます。</li> </ul>
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受けた職員→苦情受け窓口職員→苦情解決責任者と対応方法が整備され対応している。</li> <li>・すぐに、チーフ・園長に報告をし、必要な対応をしている。また、職員全体にも周知している。（14）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったことがあると適切に丁寧にに対応して下さって、助かります。</li> </ul>	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や電話で日々の様子を共有している。（2）</li> <li>・個々に配慮し丁寧にに対応している。（10）</li> <li>・緊急時の連絡は、ミマモルメを活用している。（2）</li> <li>・配慮して対応しているが、保護者の受け取り方はわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳楽しみにしています。</li> <li>・健康ノート等して下さっています。伝え忘れがある時は、電話で伝えて下さるのでとても嬉しいです。（1）</li> </ul>	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、クラスだより・あこやっこだより・献立表を、季節ごとに保健だよりを配布している。（15）</li> <li>・行事については、その都度配布している。（2）</li> <li>・あこやっこだよりで、子供の姿等の写真を掲載する等して子どもの姿を伝える工夫をしている。（3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だより、クラスだより、親の会よりわかりやすく発信して頂いています。（2）</li> <li>・ホームページは、少し簡単なものしかありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、お子さんの姿を共有できるようお子さんの姿や作品等の写真を掲載しておたよりを配布する等の工夫をしました。</li> </ul>
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙やホームページへの子どもの姿の掲載については、保護者から同意書を頂いたうえで掲載している。（1）</li> <li>・園外に持ち出す時は、持ち出し許可簿に記入し園長（又はチーフ）に申請して持ち出すようにしている。（18）</li> <li>・持ち帰り用のUSBを使用している。（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても注意して頂いています。十分すぎる位かと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も様々な観点から、個人情報の保護に対する取り組みをしていきます。</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回、職員間で確認している。（3）</li> <li>・感染対策マニュアルを作成し、見直しもしている。（4）</li> <li>・事業計画策定委員会を設置し、BCP計画を策定中（1）</li> <li>・保護者へは、療育説明会や個別支援計画で周知している。（8）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育説明会で説明して下さっています。</li> <li>・入園説明会で説明して下さっています。</li> </ul>	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、避難訓練を実施している。（19）</li> <li>・今年度より、年に1回防災給食を実施することになっている。（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻繁に避難訓練がなされています。</li> <li>・そんなに行われていないような気がします。</li> <li>・訓練はしたと教えていただいたことはありますが、いつするのか予定等を教えて頂けたらと思います。</li> <li>・子どもはパニックになってしまうと思うので、遊びの中で取り入れてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたより等で避難訓練の日程をお伝えするようにします。</li> </ul>
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会を設置した。（1）</li> <li>・8月に園内研修を実施した。（14）</li> </ul>		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス内の安全のためのベルト使用等、子どもの姿に応じて保護者に了承を頂き行っている。また、全職員で周知している。（16）</li> <li>・内容を個別支援計画に記載している。（4）</li> <li>・身体拘束適正委員会を設置した。（1）</li> </ul>		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年に1回、主治医からアレルギーについての指示書を頂き、対応食を提供している。（12）</li> <li>・毎月、献立表を保護者に確認して頂いている。（5）</li> <li>・1年に1回、看護師がエピペン研修を実施している。（7）</li> <li>・療育中の対応は、マニュアルを作成して全職員で共有している。（8）</li> </ul>		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーフ・園長に報告し、報告書作成し、全職員で周知している。（15）</li> <li>・再発防止につながるように、内容の精査は必要である。（2）</li> <li>・書式や何を周知するのかについては、検討が必要である。</li> </ul>		